

奈良市 手をつなぐ親の会だより	NO 406	令和6年12月20日(金)
	発行	奈良市手をつなぐ親の会
	会長	小西英玄
	所在地	〒631-0801 奈良市左京 5-3-1 奈良市総合福祉センター内
	Tel 0742-71-0770	http://naraoyanokaiinfo/



あと12日寝ると～お正月



能登半島地震で始まった2024年が終わろうとしています。
 今年の漢字に「金」が選ばれました。今年、『金』の光と闇の一年でした。
 福祉の漢字一文字は何が浮かびますか？ 混迷 停滞 資質 混乱 白紙撤回 署名活動 色んな言葉が浮かんでいきます。ほとんどが負のイメージ。やっぱり この漢字になりました。混迷の『迷』にしました。企業法人の参入により福祉の流れが大きく変わっています。福祉のチェーン店で全国展開、ネットワークで拡大しています。そして、ヘッドハンティングで優秀な福祉職員を雇用して経営の安定化を図っています。福祉未整備の時代、奈良の福祉を支えてきた、既存の福祉法人の努力が無駄にならないければいいのですが。

令和6年総会で「相談支援は私たちの子どもの生命線です」「個別支援計画書も行政提出にしなければ質は保てない」の発言を頂きました。親の会の今年度活動方針は「総合福祉センターあり方検討会」の市障連からの提案として提出しています。そして、今年度は、仲川市長と各単協6団体が「奈良市の福祉を共に創る」と言う目的で「福祉施策懇談会(仮称)」を開催しました。6団体(60分/単協)の懇談会は終わり、12月23日に今年度の総括を行います。単年度で終わることなく継続を願っています。

親の会からは、相談支援の充実を提案しました。市長からは「出来る事から始めましょう」との発言がありました。奈良市総合福祉センターの方向性として福祉総合相談窓口の設置が実現に向かっていきます。

親の会として出来る事。令和6年度研修会を開催いたします。3回シリーズです。今回「相談支援の充実」(標準化・平準化)を目的に研修会を開催いたします。

○研修会第1ステージ (令和6年度)

「奈良市障がい福祉課と話そう」障がい福祉課より、「福祉の話し」(基礎編)を聴こう

○研修会第2ステージ (令和7年度 前期予定)

「相談支援事業をもっと知ろう」施設職員より、「福祉の話し」(基礎編)を聴こう

○研修会第3ステージ (令和7年度 後期予定)

「より具体的にモデルケースを用いて」実際こどの様にして「アセスメント」から「サービス等利用計画」の作成。「サービス等利用計画」から「個別支援計画」の作成を説明(解説)して頂く。

相談支援事業の充実、利用者である我々が変わらなければならないと痛感しています。理解が出来ない状態を続けていくことは、今後、現状より進化はみられないと考えます。保護者が、理解し支援者と話しあい今一番良い支援を提供できる事から、相談支援事業のボトムアップができればと企画しました。

研修会第1ステージ 奈良市障がい福祉課に聞きたいことは？

○「奈良市障がい福祉課と話そう」

- ・相談支援事業の現状→奈良市はどの様に推進しているのか？
- ・奈良市が目指す相談支援事業とは→より具体的に。奈良市の言葉で
- ・達成までのプロセス→タイムスケジュール 障害者福祉計画記載事項。
- ・阻害要因は。その解決方法は？
- ・相談支援充実当事者はどの様に対応すべきか？
- ・奈良市が支援施設側及び相談支援事業所・相談支援専門員の方に望むこと

○自由討議

会員から 奈良市への質問

この様なストーリー(案)を考えています。

会員の皆さまには事前にご意見を頂き、障がい福祉課と調整していきます。

★聞きたいこと ★言いたいこと ★してほしいこと ★止めてほしいこと
福祉課職員に障がいと共に生きる我が子と家族を知って頂くために
子どもとの生活で★困ったこと ☆嬉しかったこと ★悲しかったこと

皆さまの『希』を活字にして送ってください。

送り先：FAX 0742-22-9619 (小西)まで。2025年1月6日(月)までお願いします。

令和6年度 親の会 研修会 の お知らせ

親の会では、我が子たちのより良い相談支援事業（サービス等支援計画、個別支援計画など）となることを目指した研修会を拡大理事会として実施します。

第1回は、上記のように、「奈良市障がい福祉課と話そう」です。

相談の入り口となる「障がい福祉サービス」について、市行政の方からのお話をお聞きしたいと思います。多くの皆様のご参加をお願いします。

日時：1月24日(金) 10時15分～12時15分
場所：市総合福祉センター 3階 集会室
演題：「(仮題) 障害福祉サービスについて」
講師：奈良市障がい福祉課 担当職員 様 (未定)

より良い
「相談支援」事業 のために
是非ご参加を！！

第2回目以降は、相談支援専門員や個別支援計画を作成される事業所の皆様からお話をお聞きし、より良い支援を目指した意見交換などを行いたいと思います。

奈良県自立更生者知事表彰について

登美ヶ丘北中学校区の 平山 美代子さん が、「奈良県自立更生者として知事表彰を授賞されました。

おめでとうございます！！

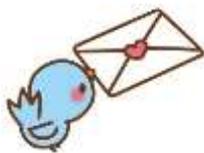
平山さんは、奈良県立高等養護学校卒業後、何度か転職しなければならなかったこともありましたが、自らハローワークなどに相談しながら、29年間一般就労を続けて来られました。また、この間、奈良県手をつなぐ育成会本人の会(サンメイト)の会長としても、全国大会や近畿大会に積極的に参加してこられました。



自立更生者表彰の感想

平山 美代子

私は、仕事で長い間働いていたので知事表彰をもらいに行きました。そこで、副知事さんから、知事表彰をもらいながら、今までの私の仕事の経歴をお話してくれて、もらったこともない立派な表彰状をもらえて、働いてこんないい経験ができて、すごくうれしかったです。それに、支援者の人に、「礼儀がきちんとして、100点満点！！」と言われてすごくうれしかったです。これからも仕事や両親の介護にも一生懸命がんばってやります。



～バースデーカードのこと～

「親の会はいつも子供たちに寄り添っているよ」という気持ちと「生まれてきてくれてありがとう」という気持ちをバースデーカードに込めてプレゼントしたい。との思いで 2009 年にスタートさせていただいたバースデーカードのことで少しお願いがあります。

一つ目は、昨今の郵便事情が変わりお誕生日当日または前日にお届けが難しくなっています。なるべく早く届くように投函させていただきます。それでもお誕生日を過ぎて届いた場合はご本人さんにわかるように説明をお願いします。

二つ目は施設入所・グループホーム等で生活されている方がお引越等によりカードのお届けが難しくなっています。

担当校区の理事及び会員の皆さまの中で子どもたちの住むところが変わった等の情報を得た方は執行部までお知らせいただくと助かります。

誰一人漏れることなくお届けしたいのです。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 中前 克子

行事予定

1 月		(場 所)	(主 催)
クリーン作戦	6(月)	市役所玄関前(10時集合)	市親の会
青年学級 新年会	11(土)	む〜ちゃん	市親の会青年学級
(県)二十歳のつどい	12(日)	県社会福祉総合センター	県育成会
(市)研修会・拡大理事会	24(金)	市総合福祉センター	市親の会
(県)本人の会 ミュージック・ケア	26(日)	県福祉パーク多目的運動ホール	県育成会本人の会

2 月	(日程)	(場 所)	(主 催)
青年学級 ランチ バイキング	1(土)	ラ・フェスタ JR 奈良駅	市親の会青年学級
クリーン作戦	3(月)	市役所玄関前(10時集合)	市親の会
市理事会	28(金)	市総合福祉センター	市親の会

第63回「近畿知的障がい者福祉大会(近畿大会)」に参加して

(富雄南中学校区) 阪口 貴子

12月1日(日)に、「自分と家族の命を守るために～個別避難計画と防災対策～」をテーマに近畿大会(場所:クレオ大阪中央)が開催されました。今年は、元旦に発生した「能登半島地震(最大震度7)」、7月の山形・秋田豪雨、8月に発表された「南海トラフ地震情報」、9月の能登半島豪雨等と、自然災害が頻発し激甚化した年でした。

これまで、甚大な災害を機に災害対策基本法の改正が重ねられ、災害時に要配慮者となる知的障がいのある人たちの命を守る個別避難計画の作成が2021年には市町村の努力義務化されています。しかし、現状では、個別避難計画の認知度の低さと作成上の困難さ等から策定が進まない状況です。また、2021年、5月には、福祉避難所ガイドラインの改正により、予め受け入れ対象者を特定し、要配慮者とその家族のみが福祉避難所に直接避難が出来るようになったと報告がありました。奈良市の福祉避難所63か所の体制整備はどうでしょうか？

能登半島地震では、被害が甚大で、福祉避難所の設置はできず、広域(他の地域)に避難されたようです。被災状況は、大停電、長期にわたる上下水道の配管損傷等により断水状態が続き、道路の隆起、通行止めによる迂回を余儀なくされ、多くの福祉施設・事業所が休止(その後廃業)に追い込まれて、再建に向けての人手の確保が急務です。

能登半島地震を受けて、南海トラフ巨大地震を見据え、避難とは、個別避難計画に基づき、安全な場所への移動行動であり、その後、安全な場所での暮らしの再建対策までが求められ、災害ケースマネジメント力が必要となります。

来年(2025年)は、阪神淡路大震災から30年となります。あの頃と比較すると、高齢化が進み(約30%)非正規割合が21%から37%、消防団員数97万5千人から76万3千人と減少しており、社会情勢・基盤は大きく変化しています。これまで、「自助」に頼っていた社会政策が、社会構造の変化により、「互助」「共助」そして、「公助」の役割を強くして補完せざるを得ない状況下ですが、あなたの災害時対策、避難場所はどこですか？